

## 工事監査

- 監査対象工事 田川伊田駅前広場整備工事（その2）  
桜町・新町線歩道改良工事
- 監査の期間 令和元年12月17日～令和2年5月25日

### (1)田川伊田駅前広場整備工事（その2）・・・・・・[都市計画課]

【工事の目的】都市再生整備計画に掲げる、田川伊田駅を中心とした賑わいと回遊性のあるまちづくりを目指し、市の玄関口として相応しい駅前空間として、良好な景観形成と交通結節機能の向上を図るもの。

| 件名        | 主な指摘内容  |
|-----------|---|
| 設計の合理性    | アスファルト切断時の汚水や電線管の撤去後の処理は、法律により産業廃棄物としての処理を設計に計上すること。                      |
| 特記仕様書     | 「福岡県土木工事共通仕様書」に基づいて施工を行うことや、既設の排水などについての情報を特記仕様書として作成し、施工業者に文書で伝えること。     |
| 工事打合せ簿一覧表 | 工事内容の把握・整理などに便利であるため、工事打合せ簿一覧表の作成を検討すること。                                 |
| 施工計画書     | 予想されるリスクを事前に共有するため、施工計画書に現場特有の内容についても記述すること。                              |
| 工程管理      | 施工業者に月報として毎月の進捗率の報告を求め、実際の進捗率を把握すること。                                     |
| 安全管理      | 施工業者の安全意識が不足しているため、現場に掲示する建設業許可票などの掲示物を適切な場所に掲示することなど、法や規則に基づく適切な指導を行うこと。 |



### (2)桜町・新町線歩道改良工事・・・・・・[土木課]

【工事の目的】該当路線は施工後数十年が経過しており、歩道部の老朽化が著しく、通行に支障をきたしている状況である。この問題を解消するため、歩道改良工事を行い歩行者の安全な通行を確保し、利用の促進を図るもの。

| 件名    | 主な指摘内容   |
|-------|--|
| 設計の内容 | 今後の設計においては、工法についての比較検討を的確に行うこと。                      |
| 特記仕様書 | 「福岡県土木工事共通仕様書」に基づいて施工することを特記仕様書に加え、施工業者に対して文書で伝えること。 |
| 施工計画書 | (1)の工事と同じ指摘内容  |
| 工程管理  | (1)の工事と同じ指摘内容  |
| 安全管理  | (1)の工事と同じ指摘内容  |



## 定期監査 (第2期)

- 監査の対象 建築住宅課
- 監査の内容 平成31年4月1日～令和元年10月末（一部過年度分を含む）の財務などに関する事務
- 監査の期間 令和元年11月22日～令和2年5月25日

| 件名   | 主な指摘内容  |
|------|---|
| 契約事務 | ①契約書に必要な事項の記載漏れがあったため適正な事務処理を行うこと。<br>②印紙税額に誤りがあるものがあったため適正な事務処理を行うこと。                |
| 財産管理 | ①行政財産の目的外使用許可について、財政課長への合議を行っていないものがあったため適正な事務処理を行うこと。<br>②備品の登録漏れがあったため適正な事務処理を行うこと。 |

要項事項  
今回検証を行った「課（係）等の配置人員及び説明指標の推移」をもとに、今後は①さらに信頼性・説得力のある説明指標を厳選する、②他市（全国・県内・近隣市）との比較を行う、などによって課の職員配置の水準をより客観的に説明できるよう努めること。

# 監査結果を公表します

代表監査委員 丸谷 芳昭 監査委員 尾崎 行人

市の事務に不正や誤りがないか、経済性や効率性は保たれているのかなどの視点で監査を実施しています。今号では、令和元年11月以降の監査結果をお知らせします。

## 財政援助 団体等監査

- 監査の対象 (補助金名) 公益社団法人田川地区シルバー人材センター補助金 (所管課) 高齢障害課
- 監査の内容 財政援助に係る出納、補助金の使途その他事務の執行（平成30年度分）
- 監査の期間 令和元年12月2日～令和2年5月25日

### (1)対象団体に関する事項

| 件名               | 主な指摘内容   |
|------------------|--|
| 補助金手続きの<br>合規性など | 補助事業についての帳簿を整え、補助事業に係る経費と他の経費とを明確に区分して経理されていない。公益社団法人田川地区シルバー人材センター補助金交付要綱（以下「要綱」と略記）第8条に基づき、適切な処理を行うこと。 |

### (2)所管部署に関する事項

| 件名               | 主な指摘内容   |
|------------------|--|
| 補助金手続きの<br>合規性など | ① 要綱第5条による「補助事業実施状況報告書」は、様式の定めがないため「事務事業実績報告書」の様式で提出されていた。今後は、要綱に様式を定めるなどの整備を行うこと。<br>② 補助金の交付手続きにおいて、事務事業実績報告書には添付されている「補助対象経費に係る書類」の添付がなく、補助対象経費が一目瞭然には確認できなかった。田川市補助金交付規則の趣旨に照らし、交付申請時にも実績報告時と同等の補助対象経費が確認できる書類を添付させること。<br>③ 実績報告時の審査では、提出書類の照合確認だけでなく、補助対象経費の支出が確認できる帳票などとの照合確認を行うこと。 |
| 団体に対する<br>指導監督   | 上記の対象団体への指摘事項など、担当課としての指導面で工夫の余地がある。要綱や田川市補助金交付規則に基づく適切な処理について指導監督を徹底すること。   |
| その他              | 今回の指摘を踏まえ、所管の他の補助金についても今一度点検確認を行うこと。   |

### (3)共通事項(特別留意事項)

※3E：経済性(Economy)、効率性(Efficiency)  
有効性(Effectiveness)

#### 3E\*(経済性・効率性・有効性)の観点で水準分析

今回の監査において、本市（地区）と本市以外の筑豊7市（地区）平均によるシルバー人材センター補助金・事業実績の比較分析を実施。以下の分析結果に基づき、補助金や事業のあり方について要望しました。

| 分析結果 | 【指数①】：「会員1人当たりの補助金の水準」を見るもので、田川（地区）は、市のみの比較と地区全体の比較のいずれも筑豊7市（地区）平均よりもかなり低い状況である。                                       |   |
|------|--|---|
|      | 【指数②】：「会員1人当たりの事業成果（契約金額）」を見るもので、田川（地区）は、筑豊7市（地区）平均の62.5%程度の水準にとどまっている。  | 【指数③】：「補助金に対する事業成果（契約金額）の効率性」を見るもので、高いほど効率的である。田川（地区）は、筑豊7市（地区）平均より若干低くなっている。 |
| 要望事項 | 「指数②による効果」や「指数③による効率性」を上げることが、シルバー人材センターの有用性を高めることにつながる。今後は、以上のような水準分析などにより、市側・団体側双方の課題として補助金や事業のあり方について検証していくことを望みたい。 |   |

平成30年度シルバー人材センター補助金・事業実績比較

|                 | 田川<br>(広域・田川郡町村)          | 筑豊7市(地区)<br>平均             |
|-----------------|---------------------------|----------------------------|
| 市町村補助金<br>A (円) | 14,608,000<br>(5,004,131) | 13,556,000<br>(11,558,429) |
| 会員数<br>B (人)    | 544<br>(199)              | 354<br>(329)               |
| 契約金額<br>C (円)   | 174,094,333               | 181,431,602                |
| 指数① A/B         | 26,853<br>(25,146)        | 38,263<br>(35,102)         |
| 指数② C/B         | 320,026                   | 512,105                    |
| 指数③ C/A         | 11.9                      | 13.4                       |

(注1) 田川は、田川市と田川郡の7町村による広域事業  
(注2) 筑豊7市は、飯塚、直方、行橋、豊前、中間、嘉麻、宮若の各市（豊前、嘉麻、宮若は広域事業）  
(注3) 各項目下段の（ ）内は市のみの数値